

恐竜に 会いたい

岡山理科大学教授・石垣忍



⑨ 長い爪の謎——テリジノサウルス

ネコの機嫌が良いときに足の爪を観察してみよう。ネコの手のひらの部分を押すと、鋭いカギ爪がよきと現れます。爪の先は半透明です。一方、根元の方の中心には薄茶色の骨が見えます。

骨格標本で見ると、骨でできた芯があり、それに私たちの爪と同じケラチンというタンパク質でできた半透明のさやがかぶさっています。鉛筆にこがったチップをはめたようなものです。

肉食恐竜にもこのような骨でできた芯とケラチンでできたさやがありました。ケラチンは化石として残らず、骨だけが残ります。みなさんが目にする恐竜骨格の爪は骨の芯の部分ですが、生きていた時はその上にさやがかぶさり、もっと長く大きく鋭かったのです。

長い爪を持つ

恐竜の代表格が

テリジノサウル

スです。写真を

見てください。

前足の爪の長さ

は69センチありま

す。さらに最近

見つかった不完

全な化石を調べ

た研究者によ

ると、その爪の長

さは80センチを

超えるようです。

生きていた時は

がったさやに覆

われていたはず

です。

テリジノサウル

スの右前足の先

の部

分

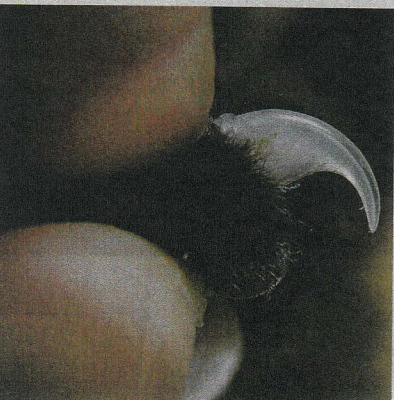
骨の先のさや残らない



テリジノサウルスの復元画。前足には左右それぞれ3本ずつ長い爪があった (絵・宮崎俊喜)

ですから約1メートル。さて、こんな爪、一体何に使ったのか？ 実はよく分かっていません。そもそもテリジノサウルスは植物を食べていたようです。この爪の謎、みなさんはどう考えますか？

テリジノサウルスの右前足の先の部分は、環境学習センター「アスエコ」(岡山市北区下石井)で開催中の「冬の恐竜展」で見ることが出来ます。2月27日まで。日曜、祝日休館。



ネコの前足の先のカギ爪